

ボランティア・市民活動実践セミナー(兼 ボランティア関係機関職員養成講座)

令和6年7月17日(水)13:00~15:30 県総合社会教育センター 受講者163名

1 内容

【講義】「地域とともにはぐくむボランティア活動」

講師 十和田NPO子どもセンター・ハピたの

代表理事 中沢 洋子 氏



【パネルディスカッション】「地域とともにつなぎ、つながりつづけるボランティア活動」

〈コーディネーター〉十和田NPO子どもセンター・ハピたの 代表理事 中沢 洋子 氏

〈事例発表〉 五所川原第一高等学校 教諭 三國 佑太 氏

ボランティアサークル「麦の会」 代表 若木 政人 氏

【講義要旨】

○ボランティア（NPO）とは、自分の意志で自ら進んで人や社会に貢献すること、社会に存在する様々な課題の解決に取り組むことである。

○コミュニティビジネスとは、収益性を確保しながら地域課題の解決に継続的に取り組む事業活動である。市民が主体となって地域が抱える課題をビジネスの手法で解決するとともに、コミュニティの再生を通じて、活動の利益を地域に還元することを目的とし、持続可能なボランティア活動にもつながる。

○子どもたちがたくさんの地域の大人たちと出会うことで、「人とのかかわり」や「あたたかなつながり」を学ぶことができ、自ら考え、自ら判断し、責任をもって行動する、「社会で生きて働くための力」を身につけることにつながる。

2 受講者の感想

- ・自分たちは何をしたいのか、子どもたちにどうあってほしいのか、とても明確に思い、考えて活動している姿に感銘を受けました。これからの活動に活かしていきたいと思います。
- ・地域や時代のニーズに合ったものを進めていくことが良いと分かりました。自分の満足で終わらず、相手の立場（気持ち）になって物事を考え、身の回りの小さなことから始めたいと思います。
- ・つながりづくりが起点となっていることで、参加者の主体性が発揮されやすくなり、支援に関わる担い手も、共に学び、成長できるという良い環境と循環が生まれていることが理解できました。
- ・お話をいただいた皆さんの活動を参考に、今後もいろいろな場面でボランティア活動に取り組んでいきたいと思います。

